

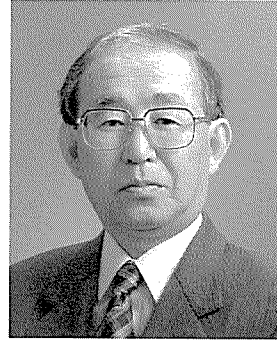
## 著作目録（岩田靖夫）

著者	東北大学史料館
号	587
発行年	1996-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/00065404">http://hdl.handle.net/10097/00065404</a>

岩田靖夫教授著作目録

平成八年三月  
東北大学記念資料室  
(著作目録第五八七)

岩 田 靖 夫 教 授 略 歴



- 一九三二年（昭和七年）四月二五日 東京都に生まれる
- 一九五一年三月 東京都立日比谷高等学校卒業
- 一九五一年四月 東京大学教養学部文科二類入学
- 一九五三年四月 東京大学文学部哲学科進学
- 一九五六年三月 同上 卒業
- 一九五六年四月 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程入学
- 一九五八年三月 同上 修士課程修了
- 一九五八年四月 同上 博士課程進学
- 一九六一年三月 同上 博士課程修了
- 一九六一年四月 学術振興会奨励研究生（同年七月）
- 一九六一年七月 東京大学教養学部助手（一九六四年三月）
- 一九六四年四月 成城大学文芸学部講師（一九六七年三月）
- 一九六七年四月 北海道大学文学部助教授（倫理学講座）（一九七三年一〇月）

一九七三年一〇月 東北大学文学部助教授（西洋哲学史第一講座、～一九七七年一月）  
一九七七年一月 同 上 教授  
一九九三年四月 東北大学評議員（～一九九五年三月）

〔学会役員〕

日本哲学会委員（一九八九年度～現在）、編集委員（一九九〇～一九九四年度）  
日本西洋古典学会委員、編集委員（一九八六年度～現在、常任委員（一九九五年度～現在）  
中世哲学会常任委員（一九八四年度～現在）  
東北哲学会会長（一九九二年度～現在）

〔その他の事項〕

一九七九年八月 学術振興会派遣研究員（ベルギー王国ルーヴァン大学、ドイツ連邦共和国ケルン大学、～一九八一年一月）  
一九八六年八月 フルブライト委員会上級研究員（アメリカ合衆国ハーヴァード大学、～一九八七年四月）  
一九八七年九月 文学博士（東京大学、論文題目『アリストテレスの倫理思想』）  
一九八八年度 学術審議会専門委員（科学研究費分科会、～一九九〇年度）  
一九九〇年度 学術振興会審査委員（～一九九四年度）  
一九九四年九月 学術会議哲学研究連絡会議委員（～一九九七年八月）



著 作 目 録

〔著 書〕

- 一 『アリストテレスの倫理思想』 一九八五年一〇月 岩波書店
- 二 『神の痕跡』 一九九〇年一月 岩波書店
- 三 『倫理の復権』 一九九四年四月 岩波書店
- 四 『ソクラテス』 一九九五年七月 勁草書房

〔共著編著〕

- 一 『西洋思想の流れ』（原 佑、伊藤勝彦、渡辺二郎氏と共著）一ギリシア思想、二キリスト教（分担） 一九六五年五月 東京大学出版会
- 二 『西洋思想のあゆみ』（坂口ふみ、柏原啓一、野家啓一氏と共著）一ギリシア人の思想（分担） 一九九三年一〇月 有斐閣
- 三 『人間 その生と死』（編著） 一九九三年十二月 平楽寺書店

〔論文〕

- 一 『アリストテレスに於ける人間と倫理』、『哲学雑誌』、第七四巻、第七四二号 一九五九年九月 有斐閣
- 二 『自由と運命 —『オイディプス テュラノス』をめぐるソフォクレスの人間像』、『理想』、第三三九号、第三四〇号 一九六一年八月・九月 理想社
- 三 『存在 真理 価値（一）』、『東京大学教養学部人文科学科紀要』、第二九集、哲学一〇 一九六三年三月

- 四 「存在 真理 価値（二）」、『東京大学教養学部人文科学科紀要』、第三一集、哲学一 一九六四年 三月
- 五 「ポリテタイアにおけるドクサとエビステーメー（一）」、『哲学雑誌』、第八〇巻七五二号（ギリシア思想の研究） 一九六五年一〇月 有斐閣
- 六 「魂」、『哲学』 岩崎武雄編 所収 一九六五年一二月 有信堂
- 七 「ディアレクティケー、管見」、『成城文芸』、第四六号 一九六七年 五月
- 八 「主体性の意味」、『理想』、第四一六号 一九六八年 一月 理想社
- 九 「アリストテレスの文学論」、『理想』、第四二九号 一九六九年 二月 理想社
- 一〇 「愛についてーアリストテレスのフィリアー考を中心とする人間観試論」、『北海道大学文学部紀要』、一八の一、通巻二四号 一九七〇年 七月
- 一一 「存在への接近ーハイデガーの根拠をめぐって」、『講座『哲学』第一巻所収 一九七三年 二月 東京大学出版会
- 一二 「バルメニデスの存在とアトム」、『講座『哲学』第二巻所収 一九七三年 三月 東京大学出版会
- 一三 「真理」、『現代哲学選書第一巻『哲学への道』所収 一九七三年 四月 学文社
- 一四 「アリストテレスにおける自然（上）」、『哲学雑誌』、第八九巻、第七六一号 一九七四年 一月 有斐閣
- 一五 「ポリスの存在としての人間」、『現代哲学選書第九巻『社会の哲学』所収 一九七五年 九月 学文社
- 一六 「アリストテレスにおける自然（中）」、『哲学雑誌』、第九〇巻、第七六二号 一九七五年 一月 有斐閣
- 一七 「アリストテレスの目的論」、『東北大学文学部研究年報』、第二六号、 一九七七年 三月
- 一八 「世界観の探究」、『一生活て自然、四ポリスに生きる人間、七回帰する歴史』、『東北大学開放講座テキスト』、東北大学教育学部大学教育開放センター 一九七七年 一月
- 一九 「秩序と偶然ーアリストテレスの目的論の一局画面」、『哲学雑誌』、第九二巻、第七六四号 一九七八年一〇月 有斐閣

- 二〇 「存在」(井上忠編『哲学』所収) 一九七九年 二月 弘文堂
- 二一 「アリストテレスの場所論」、『西洋古典学研究』、第二七号 一九七九年 三月 岩波書店
- 二二 「アリストテレスのフロネーシスとギリシアの伝統」、『現代思想』三月号 一九八二年 三月 青土社
- 二三 「アリストテレス倫理学の原理」、『思索』、第一五号 一九八二年一〇月 東北大学哲学研究会
- 二四 「アテナイ期の哲学」、『テキストブック 西洋哲学史』 一九八四年 八月 有斐閣
- 二五 「合理性とはなにか——いわゆるテキスト主義に關説して」、『哲学雑誌』、第七七一号 一九八四年 一月 有斐閣
- 二六 「ケノン・コーラー・トボス」、『新岩波講座 哲学』、第七卷 一九八五年 六月 岩波書店
- 二七 「他者の痕跡」、『理想』、第六二六号 一九八五年 七月 理想社
- 二八 「ソクラテスのダイモニオン」、『メランコリー概念の研究』(科学研究費報告) 一九八六年 四月 岩波書店
- 二九 「正義論の基底——ロールズとアリストテレス」、『思想』、第七四六号 一九八六年 八月 岩波書店
- 三〇 「『トピカ』における述語の分類について」、『対話の論理と論証の論理』(科学研究費報告) 一九八八年 三月 岩波書店
- 三一 「アリストテレスの国家観——自然的・倫理的共同体としての国家」、『西洋思想における正義論の系譜とその現代的展開』(科学研究費報告) 一九八八年 三月 岩波書店
- 三二 「人倫的世界における目的論」(日本哲学会一九八八年度シンポジウム「目的論の再検討」提題論文)、『哲学』第三七号 一九八八年 四月 法政大学出版局
- 三三 「公共的合意による倫理——ロールズ哲学の基本的構造」、『思想』、第七七七号 一九八九年 三月 岩波書店
- 三四 「超越と倫理」、『講座 人間』、第八卷所収 一九八九年 二月 岩波書店
- 三五 「生と死の逆説——ソクラテスにおける生と生の彼方——」、『人間、その生と死』(東北大学開放講座テキスト)、東北大学教育学部大学教育開放センター 一九九二年 九月 岩波書店



三六 「アリストテレスの無限論——宇宙の有限性との連関において——」『天体表現の芸術史的考察』（科学研究費報告） 一九九三年三月

三七 「ハイデガーの「最後の神」に関する覚書」、「異文化間の接触と交流」（文学部平成四年度教育研究学内特別経費研究報告書） 一九九三年三月

三八 「ソクラテスの問い——原点への還帰」（日本哲学会一九九三年度シンポジウム）『現代の歴史的状況における哲学の役割』提題論文、『哲学』第四二号、法政大学出版局 一九九三年四月

三九 「否定の精神と超越への予感——キルケゴールのソクラテス理解に關説して——」、「なぜキリスト教か——中川秀恭八五歳記念論文集」 創文社 一九九三年九月

四〇 「技術と芸術の等根源性とそれぞれの意味」、「技術と芸術——その等根源性と両極性をめぐる歴史的哲学的考察——」（科学研究費報告） 一九九四年三月

四一 「ソクラテスの正義——『クリトン篇』の根底にあるもの——」、「自然法と実践知」（阿南成一、他編） 創文社 一九九四年八月

四二 「自然の合目的性と自然破壊」、「終わりからのメッセージ——世紀末を迎えて——」（東北大学開放講座テキスト）、東北大学教育学部大学教育開放センタ― 一九九四年九月

四三 「内在と超越——ハイデガーの『無』とソクラテスの『ダイモニオン』——」、「中世哲学会一九九三年度シンポジウム」〔中世における神秘思想〕提題論文、『中世思想研究』第三六号 創文社 一九九四年一〇月

四四 「ソクラテスの神」、「カトリック研究所年報」第一号 仙台白百合短期大学 一九九五年七月

## 〔翻訳〕

一 「アレクサンドロスに贈る弁論術」（斉藤忍随氏と共訳）、『アリストテレス全集』第一六巻 岩波書店 一九六八年二月

- 二 E. R. ドッズ『ギリシア人と非理性』（水野一氏と共訳）  
一九七二年二月 みすず書房
- 三 トマス・アキナス「存在と本質」「対異教徒大全」抄訳、アウグスチヌス  
「神の国」抄訳、『原典による哲学の歩み』（岩崎武雄・斉藤忍随編）  
一九七四年一月 講談社
- 四 W. K. C. ガスリー『ギリシア人の人間観』  
一九七八年二月 白水社
- 五 J. デリダ「哲学を教えること——教師、芸術家、国家 カントとシェリン  
グから」、『思想』、第七一八号  
一九八四年四月 岩波書店
- 六 M. ハイデガー『アリストテレスの《形而上学》第九卷講義』（アリストテ  
レス全集第三三卷）（天野正幸、篠沢和久氏と共訳）  
一九九四年一〇月 創文社

